

## 豊橋文学めぐり「ふるさとの民話をたずねて」

6月23日（木）に、豊橋文学めぐり「ふるさとの民話をたずねて」を開催しました。梅雨の時期であるにもかかわらず、気持ちの良い快晴になりました。

今年度も講師には中島三郎さんを、語りには豊橋の民話を語りつぐ会の皆さんをお招きしました。



中島先生の解説



民話を語る会のメンバー

今回は4つの民話を語っていただきました。

- ・津田校区 「三つ塚の主のたたり」 前芝地区市民館にて
  - ・前芝校区 「知恵地藏」 蛤珠寺にて
  - ・松葉校区 「関の小万」 賢養院にて
  - ・新川校区 「身がわり地藏」 神宮寺にて
- （参照：片身のスズキ）

また、菟足神社では「子だか橋」について中島先生のお話をうかがいました。



語り手

参加された方々からは、「豊橋に住んでいながら知らないことばかりです。」「知らない地域の流れに触れることができ、有意義でした。又、次回の企画を楽しみにしています。」などの感想をいただきました。さらに、「民話を勉強したい」、「もう一度今回訪れた民話の地に立ち寄ってみる」とおっしゃられる方もいました。



写真：三つ塚

ここにどんな民話があるかご存知ですか？

講師、語り手始め、多くの方々のご協力により、参加された皆さんにご満足いただけた1日となりました。ありがとうございました。特に、民話や豊橋について知り、行く先々で人々と出会い、発見と出会いに溢れた1日でした。

次回の豊橋文学めぐりは秋に「文学」を題材に行います。「民話」同様に参加者の方々に満足していただけるよう進めています。

広報とよはしでご案内しますので、ぜひご参加ください。多くの方々のご参加お待ちしております。